

東区 地域整備部 地域整備課
向原さん（土木）（平成30年度入庁）



今回は、入庁2年目！
東区役所で頑張る
土木職・向原さんの
ご紹介じゃ。



Q1. どうして福岡市職員になろうと思いましたか？

高校で土木を学んでいく中で、土木は自分たちの暮らしを支える大切なものだと実感しました。福岡市は九州一の大都市であり、観光地としても訪れる方が多い中で、そのような人々の暮らしを支えたいと思い、福岡市を志望しました。

Q2. 実際に入庁してみてどう感じましたか？
（入庁前に抱いていたイメージと違っていたことがあれば教えてください。）

入庁前のイメージは、ぼんやりと道路整備を行ったり、維持管理を行うものでした。

しかし現在の部署で働き始めてから、道路整備を行うために付随した構造物等の検討や基準や法律などで構成されており、土木の奥深さや楽しさを感じながら仕事をしています。

福岡市には、
こげん綺麗な海が
あるとよ！



Q3. 現在の業務内容を具体的に教えてください。

主に東区管内のバリアフリー整備や交通安全施設の設計・監督を行っています。
地元住民より交通安全に関する要望を受けて、現地調査を行い、市の基準と照らし合わせて、対応方針を決めます。

「安全で快適な生活基盤の整備」を主軸に仕事をしています！

Q4. 業務の中で一番魅力的な（やりがいのある）ところを教えてください。

バリアフリー整備など複雑な設計を行って、工事が終わり、道路がきれいになったのを見るとやりがいを感じます。

Q5. 仕事を通じて発見したことや感動したことはどんなことですか？

区役所は市民対応の第一線ということもあり、要望を受け、工事を行った後に地元の人から「おかげさまで助かりました。ありがとうございました。」と感謝の言葉をいただいたときにやりがいを感じます。

Q6. これまで経験した部署を教えてください。

現在が1ヶ所目です！



ここの道路は、トラックなど大きい車両が通るのでわだち（タイヤの跡のような凸凹）ができており、通常の舗装でやり替えてもまた同じような状態になるため、半たわみ性舗装という、簡単に言うと、アスファルトとコンクリートが合体したような舗装にしました。これにすることによって、前述のわだちやクラック（ひび割れ）などにも強い舗装が出来上がります！

Q7. 今後担当してみたい業務や部署について教えてください。

現在は交通安全という市民の方が身近に感じやすい業務を行っていますが、今後は河川や下水など、市民の生活の基盤を裏で支えている仕事もやってみたいと思っています。

Q8. 働く上で、気をつけている事や、大切にしていることを教えてください。

市民対応の第一線なので、地元の方と接するときは、言葉遣いであったり、声のトーンや笑顔は心がけるようにしています！

Q9. 休みの日の過ごし方、仕事以外で熱中していることがあれば教えてください。

音楽がとても好きなので、好きなアーティストのライブに行きます。また、聞いたり、ライブに行ったりしているうちに、自分もしてみたいという気持ちが出てきて、近々ギターを始めようかと思っています。

また、公務員同士だと休みが同じなことがほとんどなので、仲良くなった同期と遊んだりしています。

向原さんの紹介はいかがじゃったかの。
福岡市役所では、若い職員さんも自分の仕事にやりがいを感じてしっかり頑張っておるぞ。
では、最後に、これから福岡市職員を目指す人へメッセージのお願いじゃ。



土木職は、道路や河川、下水や水道など様々な仕事があり、どこへ行ってもやりがいを感じることができる職種だと思います。
最初はわからないことだらけで不安になったりもしますが、技術研修も充実しており、やさしい先輩方もたくさんいますので大船に乗ったつもりで仕事ができます！

おまけ・・・向原さん、最初の職場ですが、どうですか？

入ってすぐは、仕事ができるか不安だらけだったけど、周りの先輩職員がほんとに!!やさしく教えてくれます。

また、現場を見ながら土木を学んでいくことができるので、楽しく仕事できています！ 福岡市役所サイコー——！



(令和元年12月時点の情報です。)

職員募集ホームページ